

2024
(令和6年)
5/

10 金曜日

発行所 毎日新聞東京本社
〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 電話03-3212-0321
定価 1か月1750円（本体1620円、消費税130円）・1部70円

毎日小学生新聞

きょうの なるほど〜

江戸時代末期の大事件「桜田門外の変」。暗殺された人の名前は？

おもしろい日本史チャンネル

くわしくは 6ページ

低学年
から3
面6さいからの
ニュース2
面はたら うま しろ
働く馬と「代かき」4
面まな すう かく
学びや 数学

△この時期はよくランドセルが捨てられます▽

ごみ清掃員でお笑いコンビ「マシガンズ」の滝沢秀一さんは4月上旬、X（ツイッター）に、ごみ集積所に置かれた赤いランドセルの写真を投稿しました。ランドセルを処分する人はどれほどいるのでしょうか。「ララチ

「親戚などに譲った」の10・1%で「保管している」の25・9%、553人にインターネットで尋ねました。最も多かったのは「破棄した」で50・6%でした。次いで「親戚などに譲った」の10・1%

かけとなって、学校で学んでほしい。読み書きができるようになって、自分自身や家族を守る知識を身に付けてほしい。そんな願いから、国際協力NGO「ジョイセフ」（東京都）は04年から使わなくなったランドセルの寄付を募り、アフガニスタンの子どもに贈っています。23年までの20年間で約27万個が海を渡っていきま

います。ランドセルはアフガニスタン東部ナンガルハル州の小学校に届けられます。ジョイセフの担当者によると、同州では、教科書をビニール袋や布に入れて長い時間歩いて通学する子どもが少なくありません。戦闘が長く続いた地域で、地雷が埋まっていることもあり、地雷が埋まっている地域でもありますが、ランドセルを使えば、両手が空いた状態で歩くことができます。「安全面でメリットがある」として喜ばれ、青空教室の学校では机代わりにもなっているそうです。

毎日小学生
新聞編集部お手紙
〒100-8051（住所不要）メール
maishou@mainichi.co.jp配達お問い合わせ / 購読お申し込み
0120-468-012保護者にお知らせ
毎小メール
登録はこちら海を渡るランドセル
寄付が選択肢に寄付されたランドセルを受け取ったアフガニスタンの小学生たち
ジョイセフ提供

の順でした。

思い出あるからこそ

滝沢さんがXで「思い出がつま

国連児童基金（ユニセフ）によ

とアフガニスタンでは、15〜24

歳の女性の58%、男性の29%は文

字の読み書きができません。

ランドセルを背負うことがき

い。読み書きができるようになって、自分自身や家族を守る知識を身に付けてほしい。そんな願いから、国際協力NGO「ジョイセフ」（東京都）は04年から使わなくなったランドセルの寄付を募り、アフガニスタンの子どもに贈っています。23年までの20年間で約27万個が海を渡っていきま

ランドセルはアフガニスタン東部ナンガルハル州の小学校に届けられます。ジョイセフの担当者によると、同州では、教科書をビニール袋や布に入れて長い時間歩いて通学する子どもが少なくありません。戦闘が長く続いた地域で、地雷が埋まっていることもあり、地雷が埋まっている地域でもありますが、ランドセルを使えば、両手が空いた状態で歩くことができます。「安全面でメリットがある」として喜ばれ、青空教室の学校では机代わりにもなっているそうです。

ランドセルを背負う子どもを目にする機会が増えたことで、就学に消極的だった家庭にも「学校に行かせたい」と考えに変化が出ています。担当者は「受け取った子どもは宝宝箱を開けたような笑顔になる。6年間の大切な思い出が詰まったランドセルだからこそ、寄付も一つの選択肢に加えてほしい」と呼びかけています。

【岡田英】